

水土里豊かな国づくり・土地改良を支える人と技術

大井川用水（二期）農業水利事業 赤松幹線水路小水力発電施設建設工事

（関東農政局 大井川用水農業水利事業所）



赤松幹線水路小水力発電所がある島田市は、静岡県中部、駿河国と遠江国の境界線である大井川沿いに位置します。本地域では、農業用水が浸透しやすく、多くの農業用水を必要とする大井川沿岸地域の農地と、大きな水源に恵まれない小笠地域の農地7,450haへ安定的に水を供給するために農業用水路の再整備、機能回復等を行っています。

本発電所は、本地域の農業水利施設の維持経費低減を図るため、用水路の改修にあわせて有効落差7m、使用水量17m³/sの豊富な農業用水を利用して800kwの発電を行うものです。発電施設は、ヘッドタンク、発電室、放水路、放水槽、発電機の点検時等に通水するための放水管、電気室の6つの施設からなり、初年度にヘッドタンク、放水管、放水槽を構築し、通水しながら次年度工事を実施、平成25年7月発電開始の予定です。これまで厳しい工程のなか、周辺民家への振動騒音の影響に配慮しつつ、また、複雑な地盤に対する処理策を検討しながら実施してまいりました。これからも無事完成を目指して無事故、無災害を達成し、小水力発電所の先進的モデルとなれるように微粒結集の精神で建設工事に取り組んでまいります。

Iida Haruo
飯田 治男 (株)間組 赤松幹線小水力発電所建設工事事務所長



社団法人 土地改良建設協会

Land Improvement Construction Association of Japan